

方城町の人口	
(12月末 現在)	
人口	7,831 人
男	3,797 人
女	4,034 人
世帯数	2,089 戸



発行所
福岡県田川郡方城町
印刷所
佐々木印刷所

「明るい豊かな」

緑の町づくりを

町長 中島義章



明けましておめでとうございます。新しい年を迎えられ、ますますご健勝のことと存じます。

旧年中は公私ともにご指導ご協力を賜わり厚くお礼申し上げます。町民の皆さんが一人一人の「方城町を何とかしなければ」という願いが、新しい町づくりへのムードを作り上げ、町の夜明けへと向いつつあるようです。

明るい町！ 豊かな町！ きれいな緑の町！ わたくしが夢見ているように、皆さんがたも同様だろうと思います。

「行政」の目的は地域住民の福祉向上にあります。

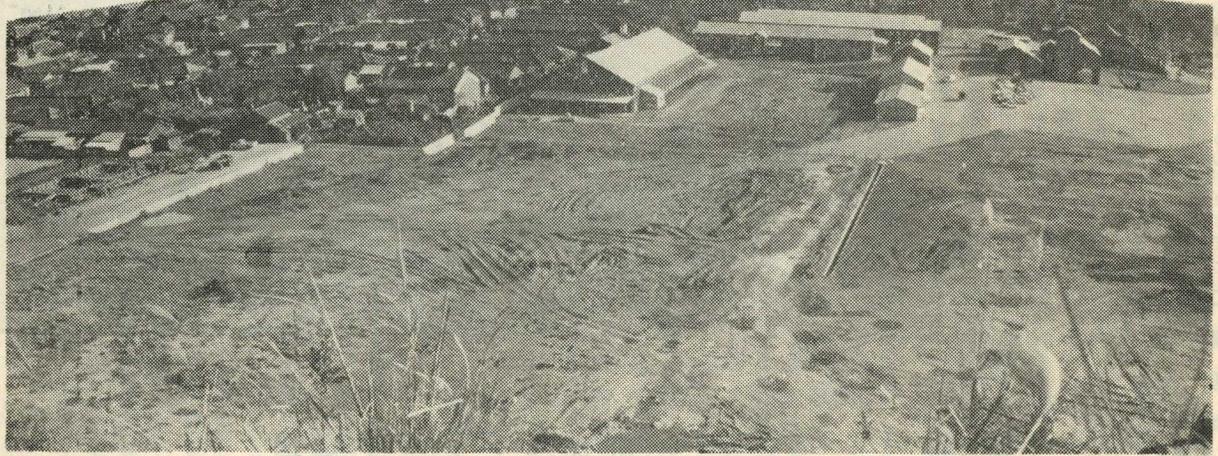
工場各社に対する、皆さんがわたくしの願いです。たがたの御協力を切にお願い申上げる所までたどりついたらよいです。わたくしも方城町の将来を夢みてわたくしの抱負を簡潔に浮きぼりにして見たいと思います。

豊かな町づくり 残念なことながら方城町単独での豊かな町づくりはかなり困難であろうということですが、

まづ考えられることは、日立マクセルを始めとする誘致工場各社の今後の発展にかかっていることです。そして誘致工場各社の発展は地元民の受入態勢とその協力的に大きく左右されるということですが、

自動車のない社会生活は考えられない時代がきつ、ある現在、主要道路の拡充舗装は町民の近代生活を便利なものにするために緊要なことであり、町の重点施策として取り上げております。農道まで舗装を、

特別に直方バイパスは主要地方道であり、県道として工事が進められておりますが、九州縦貫高速自動車道に連絡するこの直方バイパスこそ方城町にとって起死回生の大動脈と言っても過言ではないのであります。



日立マクセル株式会社全景

北九州市経済圏そして西瀬戸内臨海工業地帯との連絡は勿論、時間的には関西経済圏との交流もまた可能ならしめるからです。

直方バイパスの用地買収については、町を挙げて協力態勢をとってきましたが、僅かな耕作地の中から涙を吞んで用地を提供してくださったかたがたに深くお礼を申し上げます。

現在方城町内では四十四年度工事として約三百坪、四十五年度工事として約千坪の工事が施工されております。

一日も早くこの直方バイパスが完成することを祈るばかりです。

ボタ山と開就工事

産炭地からの体質改善、すなわち石炭の町からの生れ変りのために、積極的に開発就労工事に取組んで参りましたが、基本構想は町の中央部にアグラをかけた拡大な土地を占めて、町発展のカベになっていたボタ山を五カ年間で処理して、工場用地を、住宅団地を、あるいは町民センターを作り上げるにありました。

日立マクセルが進出した団地はその第一計画団地ですが、第二次、第三次と工事を進めて行く計画になっております。

町民センター

旧三菱方城炭坑グラウンド

建設のねらい
 方城町は新しく立直るために町民一致して努力してまいります。優秀企業の誘致、工場団地の造成、道路の整備拡充、教育施設の充実、しかしながら一方の安心を求めるところ、産炭地の暗い気分を一掃するため、町民レクリエーションの場として、老人憩いの公園として、青少年体育の場として「町民センター」の必要性を痛感いたしております。

町民センター

協力を願ひ申上げるにいたす。旧倉石坑跡、赤坂神社の森を含めた一帯を「方城町民センター」として昭和四十六年度から三カ年計画で建設準備を進めております。

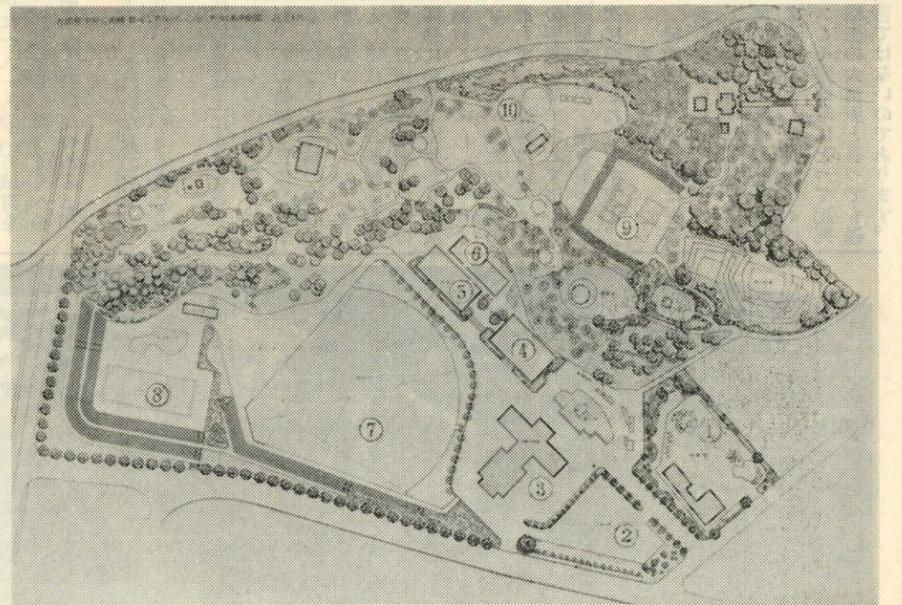
住宅政策

現在まで方城町政の中における住宅政策は、財政的な理由もあって極く貧弱なものであります。しかし、もともと真剣に取組まねばならない段階にきました。健康で明るい文化的な生活営むためには、住みよい環境の中で近代的な住宅を持つことが必要であります。せっかく日立マクセルが誘致されたのに、町内に適当な住宅がないので、他町村に下宿して通勤している人がたくさんあります。公営住宅、個人住宅を問わず、数年間のうちに何百戸もの住宅が必要であります。

炭住改良

石炭から生れ変わるための住宅政策として、まず取上げなければならぬことは炭住改良でございます。方城町内には現在
 東区 一三三戸
 大正町 二四戸
 鶴ヶ丘 一一二戸
 大黒 三四戸
 その他 六六戸
 計 三五九戸
 が残されております。これが炭住の殆んどが老朽化しております。この炭住を計画的に逐次近代的な建物に建て替えることを考えております。

物に建て替えたいと考えておりますが、ただ単に建て替えるに終わることなく、地域開発と結びつけて再編成し、あわせて地域住民の生活安定と環境の向上に寄与させなければならぬと思っております。この事業を円滑に推進するために、地元のかたがたのご理解と協力の下に十分協議研究を重ねた上で実施に移らねばなりません。国の指導方針を簡単に説明しますと、今任んでいる炭住と土地を町と国(県)とが一定の基準により、買上げ価格を決定し買収することになります。したがって、きつった住宅は町営住宅ということになるわけです。そして無理のいかないようにできるだけ低家賃で貸付けることになっております。買収価格と家賃との相殺につきましては、話し合いの上で決めることもできます。そうして十五年後は低価格分譲ということになります。住宅の構造につきましては、それぞれ説明会の際にわたくしご説明いたしますが、大体耐火式の二階建てし、現在あるような一棟五舎のものではできるだけ一戸建が一番理想的です。がしかし国の基準があり、



町民センター予定図
 ①幼稚園 ②駐車場 ③中央公民館 ④体育館 ⑤武道場 ⑥弓道場
 ⑦野球グラウンド ⑧プール ⑨テニスバレーコート ⑩展望台

町民センター予定図

石炭関連失業者を多数抱えている方城町として、職場開発の立場から、豊かな町づくりの面から工場誘致を無視する訳には行きませんが、公害のない優秀な企業を誘致しなければなりません。新日本編物、清原電機、長谷川製菓、日立マクセル……と順次充実して行きております。

学校建築
 方城中学校々舎改築については、ここ数年間PTAを始め関係者一同の強い要望がありましたが財源の問題でなかなか見込みが立ちませんでした。しかし財源状態が良くなるまで待つというのは何年先になるかわからない。校舎は老朽して生徒に危険を及ぼすおそれさえ考えられる状態になったので、関係者一同借金しても改築しなければならぬと意見一致をみました。奮発一番全面改築に踏切つたのです。方城中学校々舎建築工事は二カ年工事として大阪に本社を持つ松村組が施工中であり、伊方小学校体育館は町内の立花組が工事中でございます。

農業振興
 現在の町内農家の実態を考えますとそのほとんどがいわゆる兼業農家である。営内容についても米、麦中心であり、野菜、果樹類に

実現可能かどうかは今後の検討課題であります。
し尿 ゴミ 火葬
 住民福祉三行政と言え、し尿、ゴミ、火葬といわれております。いずれも環境衛生の立場からゆるがせにできない施設ですが、広域行政の立場で他市町村と共同で処理する方法で行

くべきかと思っております。現在、し尿処理施設は下田川、方城の共同事業として赤川、方城の共同事業として弁城川の下流地点にて工事中ですが、本年三月末に完成操業の運びになっております。また、世界中をあげて重視されつつあるのがゴミ

処理ですが、これも下田川四方町の共同事業として昭和四十六年度から企画検討されることになっております。火葬場は、田川郡市で共同施設を作ったかどうかというところで、合同会議をもつて検討中でございます。

川、直方産業パイパス建設も着々と進行しているように見受けられます。この建設の晩には、町振興開発は一段と容易になり住民の福利増進に寄与するところ大なるものと信ずるものであります。これは建設には町民皆さまの御協力とご理解を願うものであります。このパイパスの早期完成を皆さまがたとともに待ち望みたいと存じます。下田川四カ町による共同し尿処理場の建設が進められておりますが、これが竣工の晩には、環境衛生上住民の生活環境の向上に役立ち、また大なるものがあつて同慶に存するものであります。

特産物が全く見られないのが実態であります。これは過去数十年間炭鉱依存による農業技術の遅れ、農業意識の低下などが主な原因だと思われまふ。このように不安定な兼業により農業以外の所得によって農業経済が支えられているのが現状ではないかと考えられます。

一口に農業振興と申しましても立地条件あるいは稼働人口の減少などいろいろ要素を含んでおります。で総合的、計画的に順次一歩一歩の積み重ねにより、その振興を図りたい所存でございます。

四十六年度におきましてはハウス園芸の育成を重点的に採り上げていく計画で県の指導もいただき着々準備中その規模も十カ所(千五百坪)を予定しております。

それから、野菜、果樹、あるいは畜産などについて町営で試験農場を開設したいと考えておりますが、これにつきましてもなお、土地の問題などいろいろな条件がありますので十分検討を重ねぜひ実現したいものと思っております。

林野の育成

去る昭和三十年度以来五カ年計画で前首長のご努力により植林された約五百町

歩に及ぶ植林も十年を経過した今日すくすくと育っております。

これも、過去数年間その育成に非常にご協力くださった地元関係者のかたがたに深く感謝いたしますと、今今後一層のご協力をお願いする所でございます。

なおこれからの育成が重要だと考えます。町をあげてせつ々かの大事業を完成した林野です。わたくしども十分これが育成に努力しなければならぬと肝に銘じているものであります。

町民一致して
 町議会議員、わたくし並に職員一同が一体となって明るい豊かな町づくりに、きれいな緑の町づくりに全力をつくす所存でございますが、皆さんが一人一人のご協力、ご指導を願ひやみませぬ。

方城町発展のためのアイデアはどんなことであつても大歓迎いたしますので、町役場企画室がわたくしご連絡下さいますようお願いいたします。

皆さんがご一家のご多幸をお祈りして新年のご挨拶といたします。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇

地域開発に思う!!

思う!!



議長 山本石男

ば地域社会経済の低調化をきたし、経済活動は鈍化し、疲弊させる根源であることに間違いありません。また他面地方行政上からみても、いまさら、これまた例外でなく行政の推進力であり、潤滑油である財政力はにわかには減退して、その反面近代的生活環境整備など住民福祉の向上を願うためのなされる行政需要は、その高度かつ多岐にわたる財政的窮乏化をさらうにうながし自治行政の麻痺的現象を呈するにいたつておると思つて過言ではないと思つておつております。かかる情勢下における市町村は今後の進むべき方向をどこに求めるか、またいかにして疲弊した地域を開発すべきかについて苦慮して、この中から方城町はその目標を産業基盤の整備、産業振興、生活環境の整備など住民福祉の向上、産炭地域過疎地域からの脱皮をはかるべく努力をいたしているにいたつております。わたくし



社長 大内豊春

方城町の皆様。新年明けましておめでとうございます。わたくしは、昨春秋、方城町議会山本議長様は町

年頭のご挨拶

前には夢にも予想できなかったこの昭和四十六年の新春、町民の皆様とともに、ここ方城町の地に迎えた運命を心から喜ぶとともに誇りと思つておる所でございます。

それは、方城町の皆様がいかにこの町を愛し、この町を素晴らしい町にしよるか、町をあげて団結しているかを知っているからでございます。

わたくしどもが「是非方城町に進出された」とのお勧めを受けたころ、前述べたように皆様がたのご熱情、進出後わずか半年の間ではあります、その間に示されたいただいた会社に対するご支援や、わたくしどもに対する教々のご芳志の中で理解できたのでございます。

また一方それだけに、かつてはわが国産業界のエネルギー源の重要生産地として脚光を浴びた石炭の町、方城町も炭鉱閉山とともに一転、文字どおりの塗炭の苦しみを経験された町民の皆様が、当社の進出にかけられるご期待もしみじみと身に感ずるわけでございませぬ。

ローマは一日にして成らず、と諺もございませぬ。わたくしどもは、常日ご芳志の繁栄なくしては望まれないし、会社も繁栄なくしては地域社会に貢献することもできない」との確信をもっていました。したがって、わたくしどもは、地にまいるまでには、社を「和協一致、仕事に魂を打ちこみ、社業の発展をはかり、社会に奉仕したい」と定め、心の支えとし、行動の基盤といたしました。

伊方小学校における非行問題

めまぐるしい社会の中に、いつの間にか置きざりにされてきた小さな非行が想像もつかぬような大きな社会問題を引き起しています。

このような傾向がすでに方城町内にもその火の手ががりつつあり、一日も早くその芽を学校で家庭で社会で力を合せて摘み取らなければなりません。

昭和四十五年四月から十

- 例として、
- (金銭関係)
 - ①担任教師の財布から(二、三〇〇円) 大半を金田小学校児童にとられる。
 - ②学童厚生会から(六、三二〇円) など。
 - ③家庭の財布より(一一、〇〇〇円) など。
 - (物品関係)
 - ①田川市風治神社で鳩をとる。途中金魚屋で南米産の亀を盗む。(三回)

- ②田川市や方城町の商店よりお菓子、ガムなどを盗む。(四回)
- ③糞で子ブタを盗み友だちに百円で売る。
- ④野荒し帰り金魚その他を盗む(五回) など。
- 二、喫煙
 - ①昨年から経験者(六名) 益を中心としての経験者(十九名)
 - 友達同志で遊び半分に喫煙をしている者、また中学生、高校生、青年と関係がある者などもあり、煙草は小使いを出し合ったり、親のものを盗んだりして吸っていた状態が見られる。また喫煙問題が学校にわかったため友だち同志で家出の相談をしていたことも判明した。経験者としては三年生から六年生まで関係している。

- 三、殴打
 - ①上級生が下級生をなにもしないのになぐる。
 - ②下級生が上級生に集団でしかえしをする。
 - ③中学生が小学生にけんかをさせる。
 - ④他校との関係
 - 田川市金川小学校児童をなぐる。
 - 井城小学校児童との接触。
 - ⑤登下校途中の買い食い
 - 危険な遊び
 - 自転車の二人乗りや整備不良のものに乗る など。

五、外部のものによる小学校舎内での非行

- ①教室荒し(十八回)
- ②講堂でのボンダ遊び
- ③物置きその他の場所での喫煙、小部屋で紙をまよし、テントの柱、こけ板などをこがす など非行事例があげられる。

非行対策は社会的な問題として広く教育関係者のなかでも議論が集中されているが、ここにあげた伊方小学校の例は数的にも質的にも他校とは比較にならないほどの問題をもっている。非行の原因として考えられることは、子どもが学校から帰っても家にだれもいないため、そのような子どもたちが近所でもたたく遊びや、グループをつくり遊ぶうちに非行に走るという事例が多い。また親たちが子どもの欲求を理解せず愛情を金銭や物品によって示そうとする傾向が見られるため、子どもは物を大切にせず、子どもは物を大切にせず、他の物にも手をだそうとする気持が強くなっている。子どもが家庭の成員として大切にされていない(物を与えるか、叱るか)という疎外感があるのではないかと思われる。子どもたちの声のなかに「おとうさん、おかあさんや先生たちと一緒に話したいをして、わたしたちの気持を知ってもらいたい」

(五年生女子) というのがある。わたしたち親や教師はもっと子どもたちの声を聞き、子どもたちとともに考えていく姿勢をつくらなければならぬと思う。教師だから、親だからといって頭ごなしに大人の考えを一方的におしつけるというやり方でなく、考え方も聞き指導していかねばならないのではないだろうか。

現在の子どもたちの生活態度の基本をつくる上から、学校では児童会を中心として子どもたちの考え方を、子どもたち同志で納得のゆくまで話し合わせ、教師は子どもたちの生活や討論の中から自主的に生活の規律を生み出し、実行していく子どもをつくる指導に力を注いでいるが、しかし、一歩学校から出た子どもたちが校内での連帯意識や実践がそのまま生かされるといふ状況におかれてきたかというところになる。多くの問題ははらんでいて、この問題をほらんでいて、地域において各学年混成グループ、中学生、高校生、青年などのグループなど、学校内とは異なった集団の中で異なった習慣やルールの中に追いつかれて混然としているのではないかと、子どもも行事として行なわれている駅伝競走やソフトボール大会にしてもその取り組みは協力し合い、援助し合って地域の連帯性を高める活動としての意義がある。わたくしどもたちにとっても、聞き、子どもたちとともに、その集団のあり方について教育的な見直しによる指導が加えられなければならない。集団が非行グループとして悪事をなす集団になったり、事例が生まれないうちにも、学校での生活指導、地域での子ども会、公民館活動など青少年対策を共通の教育目標にたつて再考慮する時期ではないかと思われる。

今後の問題(対策)として、親や教師と子どもたちとの対話をどう深めるかというところ、学校、家庭、地域でさらに進めなければならないことであるが、前述のように学校教育と家庭、地域の教育の一貫性を望むならば、より以上に親や教師の対話を必要とするところになる。問題の多い地域であるだけに、このことを共通の課題として今後実践を深めてはどうであろうか。

●児童憲章●

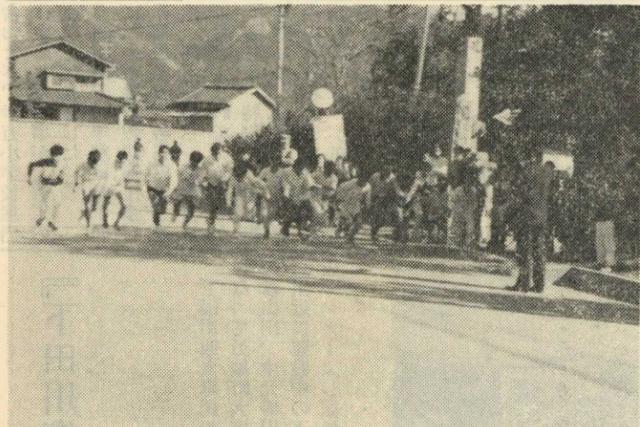
(一)すべての児童は、心身ともに健やかに生まれ、育てられ、その生活を保障される。

(二)すべての児童は、よい遊び場と文化財を用意され、悪い環境から守られる。

文責 荒巻 修

走れ 走れ 健児たち!!

師走とはいえ絶好の駅伝日和。スター助役さんの号砲一発十八人の健児たちが一せいにスタートする。出発の合図を上げる花火が澄みきった冬空に響き渡る。ときに十二月六日午前十時三十分。方城町子供育成協議会主催による第十回方城町一週子供駅伝大会が行われました。コースは役場前出発、八幡町、赤坂神社前、新門、見六、中原、野添、西古門、白髪神社前、中古門、前村、大星、草場、三本松、宝珠、迫、井城小学校、新野、野地、浄万寺、久六を経てゴール役場前までの十区間約十三㎞。参加十八チーム方城健児一八〇人による熱戦がくりひろげられました。最年少選手は小学三年生ですが、元気いっぱい完走し、その健脚ぶりは立派なものです。沿道には各部落の人々、通行人、野ら仕事の手を休めての応援が続くなか選手達は力走にまた力走。初めの区間は各選手一団となつて方城路を抜きつ抜かれつ接戦でしたが、さすがに最終区間ともなると選手は拮状と



力走する健児たち

も会の幹部役員のかたたちの日頃からたゆまざる努力と、方城町体育協会の役員のかたがたによる献身的な奉仕と適切な指導、また関係各位並に町民の方による暖いご支援とご協力のたまものと深く感謝し厚くお礼申し上げます。全選手は健闘をたたえここに拍手をおくります。

●入賞チームは次のとおり

- 優勝 新門上 四七分三秒
 - 準優勝 大星 四八分三秒
 - 三位 後谷 四八分三秒
 - 四位 八幡町 四九分三秒
 - 五位 上井城 四九分三秒
 - 六位 鶴ヶ丘 五〇分三秒
- 子どもも駅伝大会は毎年行われていますが、勝負を争うのが目的ではなく多くの子どもたちが参加し、僕も私もやれるんだ、そのなかで友和をたもち、またグループ活動にたけこみ、団体活動をおして自分をみきわ

出生、婚姻、死亡調べ

- 子どもも駅伝大会は毎年行われていますが、勝負を争うのが目的ではなく多くの子どもたちが参加し、僕も私もやれるんだ、そのなかで友和をたもち、またグループ活動にたけこみ、団体活動をおして自分をみきわ
- 一、出生ご出産おめでとうございます。
- 十一月出生者
 - 岩田弓子 近藤智美
 - 神 美紀子 大田武文
 - 原田和弥 佐藤計佐
 - 十一月婚姻者
 - 桑野悟朗 長倉昭次
 - 加藤絹枝 桑野次子
 - 香月淨司 蔵本一恵
 - 三、死亡謹んでおくやみ申し上げます。
 - 十一月死亡者
 - 田口勝美 原田ユキ
 - 安倍太郎 萬田コト

- 一、出生ご出産おめでとうございます。
- 昭和四十五年六月出生者
 - 高見亜希子
 - 昭和四十五年三月出生者
 - 田中江利子 吉田由香
 - 持丸朱美 仲山陽子
 - 西小野 武 中村理華
 - 中村吾一 木戸直美
 - 仲谷はるみ 久富大造
 - 寺本広樹

二、死亡謹んでおくやみ申し上げます。

- 昭和四十五年三月死亡者
 - 岩本クノ 仲村芳太郎
 - 木戸直美 佐藤甚吾

三、故鈴木菊松殿の逝去に由り方城町社会福祉協議会に寄贈していただきました。

四、故田島 寿殿の逝去により康信氏から香典返しとして方城町消防団に寄贈していただきました。以上厚くお礼申し上げます

方城町長 中島義章

料理飲食等消費税の
公給領収証は必ず
受取りましょう

料理飲食等消費税は次の人に課税されます。

料亭・料理店・カフェ・バー・キャバレー・飲食店・喫茶店・旅館等で飲食、宿泊、休憩などをした人。

税額は

遊興・飲食・休憩などをした場合

一人一回料金の百分の十(宿泊料金ひく八百円)の(一泊二食)(一人一泊)……百分の十

ただし、旅館、飲食店、喫茶店においては免税点が適用される場合があります。公給領収証を必ずお受取りください。

・公給領収証には、料理店用、旅館用、飲食店、喫茶店用の三種類があります。

・この公給領収証は料理飲食等消費税を納められたりするに必要です。納税の義務を果たしていただきます。

(福岡県田川財務事務所)

新しくなる 小中学校

現在の方城中学校校舎は昭和十三年に建築したもので、建物自体が非常に古く、飢害、白アリ等の老朽化により、非常に危険な状態でありました。文部省より危険校舎の指定を数年前より受け、一日でも早く改築されるようご指導を受けていました。

また伊方小学校の講堂は昭和十八年に建築したもので、飢害、白アリ等により老朽化がひどく、児童の安全を守るため、数年前から使用禁止をしていました。このような環境不良な所では教育の向上は、望めず、児童、生徒達の事を考えますと、一日でも早く、なんとかして、良い校舎や、体育館を建てたいと考え町財政のくるしい時期ではあります。町議会議会および、町民のかたがたのご協力によりまして、数年来の懸案でありました、方城中学校々

舎および、伊方小学校屋内体育館改築工事が、着工の運びとなりました。

昭和四十五年度は全国的に、小中学校の建築工事が非常に多く、各市町村ともに、割当枠が、一千平方メートルにおさえられているにもかかわらず、特別に、方城町に対して、全国でも異例な小中学校あわせて、一千六百平方メートルという許可をいただきました。

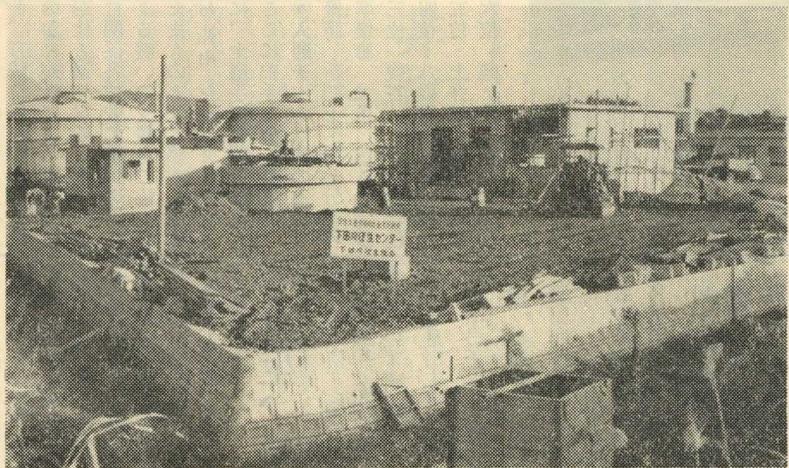
方城中学校々舎の建築総事業費は、一億一千一百五十六万七千円、昭和四十五年度の第一期工事は、面積一千三十五平方メートル、工事費二千九百九十万円、工期、昭和四十五年十一月十日から、昭和四十六年三月三十一日まで、昭和四十六年度の、第二期工事は、面積三千四百六十五平方メートル、工事費八千一百六十六万七千円、工期、昭和四十六年八月二十日までの、二年工事であります。

伊方小学校の屋内体育館の建築総事業費は、一千八百四十五万円で、面積六百八十八平方メートル、鉄骨平屋建の一カ年工事であります。完成は、本年三月三十一日あります。



『下田川衛生センター』

完成近し



完成まつし尿処理場

下田川四カ町民の与望を、が、まもなく、竣工いたしなうて方城町大字弁城迫の彦山川、中元寺川の合流点附近に建設中の下田川衛生センター（し尿処理場）の起債、および四カ町の

負担金等計一億三千九百万円、一日のし尿処理能力が、四五五（四万五千）で、四十六年三月竣工のあかつきは、下田川四カ町の人口分を完全に消化する能力があり、各界の期待が集まっています。

恐いシンナー遊び

シンナーとは、ラッカーやペンキなどの塗料を溶かすのに使われる揮発性の溶剤の種類は百以上もあるといわれています。シンナーには、トルエン、ベンゼン、酢酸エチル、酢酸ブチル、アルコール、酢酸ブチル、酢酸エチル、酢酸ブチル、メチルアルコールなど人体に有害な有機溶剤が含まれています。またシンナーと同成分で通称ボンドと呼ばれるものがあり、工業用のほかに一般工作用、例えば日曜大工や、ブラボンド、

セメダイン、コーバルなどもこれにはいります。これらを使つての青少年の遊びが最近急激にふえて前年度より約五〇%も多くなつており、死亡者は全国で一五八人にも達し、県では五人も死亡しています。シンナーなどが人体にもつ有害性は、身体的——脂肪を溶かす特性と強い麻酔性があるので、大脳、中枢神経などをおかし呼吸マヒ心臓障害をおこします。

精神的——意識障害と異常感覚がおこり、抱酔、幻想状態に陥ります。反覆乱用すると精神障害を起こすおそれもあります。

目で見える症状——頭痛、

ねむけ、めまい、失明、貧血、吐気、息切れ、不眠などの症状があらわれます。吐く息や衣服からシンナーなどのおいがする場合は充分注意しましょう。

乱用者は——中学生一五%、高校生二九%、その他五%、友人関係四〇%、その他一五%、乱用の場所——公園、空地、学校、その他となつています。このように恐い遊びはすでに当町内でもおきています。次代になう青少年を第三の麻薬といわれるシンナーやボンドの害悪を学校から家庭から、そして社会から地域ぐるみで声をかけ合い追放せねばなりません。

電話のご利用案内

田川 2-0000番 (無料)

……では電話のご利用案内をしています。

情報化時代がやってきました。電話の役目も従来にまして重要視されています。電話を正しく、能率よくご利用いただくために田川電報電話局では、ダイヤルによる電話利用のご案内をしています。

みなさまのご利用をお待ちしています。

お聞きになる場合は
田川局の市外局番(09474)に続けて
2-0000番をダイヤルしてください。
この番号は無料です